

授業科目、担当者（実務経験のある教員等を含む）及び時間数の一覧

2020 年度

学校名	国際サイクル専門学校
学科名	イオンバイク社員養成学科

単位時間

区分	科目名	教員名	実務経験の有 無	1年次	2年次	合計	
授業科目及び授業時間数表	必修科目	自転車概論	吉村 洋三	○	60	0	60
		自転車作業概論	大森 祥	○	240	360	600
		イオンバイク技術検定	高橋 弘	○	120	60	180
		店舗基礎実施概論	吉村 洋三	○	120	240	360
		自転車イベント概論	大森 祥	○	120	120	240
		経営基礎	高橋 弘	○	120	120	240
		小 計（単位時間）				780	900
	一般科目	一般教養	大森 祥		60	0	60
		オフィス実習	松本 仁		120	120	240
		英会話実習	ジノビッチ・ニコラ		60	60	120
		ビジネスマナー	杉原 美佐子		60	0	60
		就職サポート	高橋 弘		60	60	120
		ホームルーム	高橋 弘		60	60	120
小 計（単位時間）				420	300	720	
合 計（単位時間）				1200	1200	2400	
うち、実務経験のある教員の時間数（単位時間）				780	900	1680	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
自転車概論		イオンバイク社員養成学科 /1年	2020/通年	講義
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	30回	60単位時間	必須	吉村 洋三
授業の概要				
・ 自転車販売業に必要となる基礎知識（名称、機能、歴史、流通など）、情報を体系的に学修し、店頭での接客、修理等作業が出来るようになる。段階的に継続学習する事で、製造開発、商材輸入等の業務分野への発展的な活用が可能となる。				
授業終了時の到達目標				
・ 自転車に関わる業態（接客、販売、開発、生産、管理、行事等）での活動が行えるようになる。 ・ 自転車の全般的な仕組み、名称、機能、自転車の歴史、流通など、「自転車」に関わる様々な情報を、体系的に説明できる。 ・ 自転車及び付随する部品、規格の相違を判断でき、的確な類別が行える。				
実務経験有無	実務経験内容			
有	自転車販売店の店長または責任者として5年以上の店舗運営、経営実務に従事する。			
時間外に必要な学修				
講義ノート等を利用して復習する。関連する参考図書等を定期的に読み予備知識を得る。				
回	テーマ	学修内容		
1	全体表記説明・概要・歴史解説、各部名称や役割、成り立ちを学ぶ。	車体の各部分の名称、自転車の成り立ちと概要、各部機能の構造と役割を学修する。		
2	車体構成主要部品解説（メジャーブランド、サードパーティ品）、仕組みを理解する。	構成主要部品の解説（メジャーブランド、サードパーティ品）、コンポーネントとは何か、変速や制動機の仕組みを学修する。		
3	車種理解考察1 全体車種ツリー、各車種特徴（オンロード）を理解する	自転車車種のカテゴリを理解するために車種ツリーを作成する、各車種特徴（オンロード）を、機能や使用用途をもとに学修する。		
4	車種理解考察2 各車種特徴（オフロード、シティ）を理解する	自転車車種のカテゴリを理解するために車種ツリーを作成する、各車種特徴（オフロード・シティ）を、機能や使用用途をもとに学修する。		
5	工具名称・機能、各種使用単位を理解する。	工具の正式、略式名称・機能、使用用途、各種使用単位を、現物を用いて学修し、実作業がスムーズに行えるよう理解する。		
6	SCC自転車全体の歴史①（特別講師：長谷部雅幸）	自転車史（機械構造や文化変遷、国内外の流通事情の変遷）を学修し、現代の自転車の成り立ちを学修する。		
7	SCC自転車全体の歴史②（特別講師：長谷部雅幸）	パーツ設計・デザインの歴史、設計思想の解説と内装変速機の構造解説を行い、部品の取り付け交換や取扱いを学修する。		
8	SCC自転車全体の歴史③（特別講師：長谷部雅幸）	車体の移り変わりに伴う乗車時の身体の使い方、疾病対策の変遷を学修し、接客時にフィッティングや注意喚起が行えるよう学修する。		
9	SCC自転車全体の歴史④（特別講師：長谷部雅幸）	自転車と健康・文化の関わりなど、自転車をキーワードとしたライフスタイルの提案を、企業が行ってきた事例を学修し接客時に活かす。		
10	サドル部構造把握	サドルのセッティングと重心・運動の関係性、形状別操作の理解、セッティング方法を解説、サドル部全体の作業へ活かす。		
11	操作部構造把握	操作部（ハンドル、ステム、レバー類、変速機、サスペンション）の構造を解説。形状、寸法、組み合わせ、変速機の動作、サス構造を学修し実作業に活かす。		
12	回転部構造把握	回転部（ヘッドパーツ、ボトムブラケット、ハブ、車輪等）の製造工程や、BB形状による剛性等の差異、取り付け規格、車輪システムなどの構造全般を学修し実作業に活かす。		
13	サスペンション構造把握	サスペンションの構造と取り付けフレームの形状、寸法や規格などを学修し販売時の整備に活かす。		
14	ハンドル、ステムの役割と操作法	ハンドル・ステム形状による操作法の違い、仕組みを理解し、交換作業での的確な商品提案に活かす。		
15	制動装置の操作と制動方法	ブレーキ操作、制御・制動法を学修し、なぜブレーキをかけると車体が停止するのかを理解する。		
16	駆動部品の機能と役割	ギア比とは何か、ドライブトレインの概要、車輪特性、タイヤの種類別機能を解説。部品交換やメンテナンスでの適正部品の選択作業に活かす。		

17	完組ホイールの性能と構成部品の差異	構成部品の違いによる回転性能や気流効果、スポークやリム形状別の機能を解説。アップグレード作業やメンテナンス時に適切な選択ができるよう学修する。	
18	フレームセットの全体設計	フレームバランスや素材による振動減衰効果の真偽、ヘッド形状と規格の解説。なぜそう設計されたのかを理解し、販売時の商品提案に活かす。	
19	サスペンションの役割と車種別固有機能	サスペンション設計概念解説、固有機能を解説。サスペンションの意義と固有機能の特性を学修し、メンテナンス作業に活かす。	
20	サドルの種類と違い	サドル設計時の形状、寸法（ピラー、固定方式）、設計思想を理解する事で、フィッティング時に適切なセッティングが出来るよう学修する。	
21	ディスクブレーキの種類	ディスクブレーキの形状、寸法、制御法（ワイヤー、オイル）を理解し、適切な作業が行えるよう学修する。	
22	変速機の種類と違い	内/外装変速機の規格、取り付け方法、動作を理解し、実作業が行えるよう学修する。	
23	タイヤの規格	タイヤの形状、寸法、各種規格（ETRTO等）を理解し、販売時やメンテナンス時の商品提案に活かす。	
24	イタリアンブランドの解説	イタリアンブランドの成り立ち、自転車の発祥、メーカーの特徴や部品の種類を解説。商品提案時の知識を学修する。	
25	欧州のブランド解説	ヨーロッパブランドの成り立ち、メーカーの特徴や部品の種類を解説。商品提案時の知識を学修する。	
26	北米のブランド解説	アメリカンブランドの成り立ち、MTBの発祥、メーカーの特徴や部品の種類を解説。商品提案時の知識を学修する。	
27	PC製造工程①（特別講師：中野裕介）	電動アシスト自転車とオーダー自転車の流通事情、製造工程の解説。特定ブランドの流通数値や製造工程の詳細を学修する。特別講義として中野裕介が講義を行う。	
28	PC製造工程②（特別講師：中野裕介）	製造工程の検査項目や品質保持基準の解説。どのような検査がどんな基準で検査されているかを学修し、商品提案時に活かす。	
29	PCディーラー作業（特別講師：中野裕介）	特定ブランドの電動アシストにおけるディーラー向けセミナーを学修し、ディーラー技能を修得する。	
30	PCディーラー知識（特別講師：中野裕介）	POSの概要を学修し、セールスノウハウを理解する。フレーム選定作業の手法についても学修する。	
教科書・教材			
成績評価の方法			
評価率			
授業時間外の学修			
ロードバイクオールカタログ（権出版） MTB&パーツカタログ（権出版） ロードバイクメンテナンス（権出版） MTBメンテナンス（権出版） ロードバイク規格便利帳（権出版） 新・道交法BOOK（権出版） サイクル・サイエンス（河出書房） サイクルペディア（ガイアブックス） 講師資料	期末試験 授業態度	70.0% 30.0%	各講義で実施した内容をノート等利用して復習する。関連する参考図書等を定期的に読み予備知識を得る。

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
自転車作業概論		イオンバイク社員養成学科 /1年	2020/通年	実習・講義
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	120回	240単位時間	必須	大森 祥
授業の概要				
<ul style="list-style-type: none"> ・作業時基本動作・技術知識を反復練習し、実際に作業を完了できるよう学修する。 ・作業の基本マネジメントを行い、実技評価表の合格基準で店頭作業を効率よく行えるよう学修する。 				
授業終了時の到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> ・店舗実作業の準備を理解し、実技評価表の合格基準通りに実施できる。 ・自転車販売時の基本作業をマニュアル通りに行え、作業に対応する適切な部材や工具を選定できる。 ・作業や知識の整合を判断し、マニュアル内チャートに沿って適材の提案、作業が行える。 				
実務経験有無		実務経験内容		
有		自転車販売店の店長または責任者として5年以上の店舗運営、経営実務に従事する。		
時間外に必要な学修				
講義ノート等を利用して復習する。関連する参考図書等を定期的に読み予備知識を得る。				
回	テーマ	学修内容		
1	店舗作業準備①	ワークスペースでの車両配置や工具部材の置き方を身に付け、作業の準備が行えるようになる。		
2	店舗作業準備②	実際のスペースで作業工程を管理し、作業マニュアルを学修する。		
3	一般自転車の種類	車種別用途を理解し、カテゴリ分けを作成。適切な商品提案ができるようになる。		
4	店頭での取り扱い車両	国内外のブランド概要を理解し、店頭に置かれている車両がどんなものか理解する。		
5	一般自転車の企画と規格	完成車両のサイズや規格を現物で理解する。製造にまつわる企画の流れを学修する。		
6	一般自転車の変速機構造	内装・外装の機構解説。現物での作業で構造を理解し、メンテナンス作業が行えるようになる。		
7	電動アシスト車の種類	車種別用途を理解し、カテゴリ分けを作成。適切な商品提案ができるようになる。		
8	電動アシスト車の規格とサイズ	車種別サイズ比較と数値の違いを現物作業で理解し、商品提案時に適切な選択ができる。		
9	電動アシスト車のバッテリー	バッテリーの構造解説、取扱い方法と機能を現物作業で理解し作業が行えるようになる。		
10	キッズ車両の種類	車種別用途、カテゴリ分け、ブランド概要を理解し、商品提案時に適切に選択できるようになる。		
11	作業の効率化	作業を効率よく行うため、工具配置や作業順序をシミュレーションし、マニュアルとの差異を学修する。		
12	キッズ車両のサイズと規格	車種別サイズ比較と数値の違いを現物作業で理解し、商品提案時に適切な選択ができる。		
13	子乗せ自転車のブランドと種類	子乗せ自転車の種類、カテゴリ分けと、店頭取扱ブランドを学修する。		
14	子乗せ自転車のサイズと規格	車種別サイズ比較と数値の違いを現物作業で理解し、商品提案時に適切な選択ができる。		
15	子乗せ自転車の販売時整備シミュレーション	車種の選定、セッティング等をロールプレイする。作業終了後、注意点等をディスカッションし理解を深める。		
16	7分組作業準備	7分組車両を完成させるための手順を、マニュアルを確認しながら学修する。		
17	7分組作業①	マニュアルに沿って、箱出しから組付けまで作業を行う。		

18	7分組作業②	マニュアルに沿って組付けから吹き上げまで作業を行う。
19	7分組作業の課題確認	作業時間、手順をマニュアルに沿っていたか確認。効率化の課題部分を洗い出す。
20	7分組作業の課題点反復	効率的な作業をする上での課題点を反復練習し、総合的な作業時間の短縮を目指す。
21	7分組分解、梱包準備	7分組車両の分解と梱包の手立てをマニュアルで確認し学修する。
22	7分組分解作業①	マニュアルに従って、完成状態から組付け部品の取り外しを行う。
23	7分組分解作業②	マニュアルに従って、取り外した部品とフレームをくくり、箱の中に梱包する。
24	作業時間の管理とカルテ作成	作業時間の考え方や時間配分を作業からフィードバックし、作業引継ぎのためにカルテを作成する。
25	7分組分解作業の課題確認	作業時間、手順をマニュアルに沿っていたか確認。効率化の課題部分を洗い出す。
26	7分組分解作業の課題点反復	効率的な作業をする上での課題点を反復練習し、総合的な作業時間の短縮を目指す。
27	一般車全バラ分解準備	一般車の分解手順を手順書と動画で確認し学修する。実物作業での注意点も確認を行う。
28	全バラ分解作業①	組み立てのために車両を分解し、関連部品ごとにまとめる。
29	全バラ分解作業②	分解した部品をスペース内に配置し、組立作業のセッティングを行う。
30	全バラ分解作業の課題確認	車両分解の減点部分を評価表から洗い出し、実施した作業を考察。修正点を確認する。
31	一般車全バラ組立準備	一般車の組立手順を手順書と動画で確認し学修する。実物作業での注意点も確認を行う。
32	全バラ組立作業①	手順書1から7までを順を追って作業する。
33	全バラ組立作業②	手順書8から15までを順を追って作業する。
34	全バラ組立作業の課題確認	精度の減点部分を評価表から洗い出し、実施した作業を考察。修正点を確認する。
35	全バラ組作業反復①	分解時の減点項目を反復練習し、課題克服に取り組む。
36	全バラ組作業反復②	組立時の減点項目を反復練習し、課題克服に取り組む。
37	ワークフローでの作業確認	ワークフローチャートを確認しながら、作業を振り返る。一手順ごとに達成の可否を書き入れる。
38	修理、修正作業の考え方	作業の可否判定をどのように決定するか、問診フローを使って学修する。
39	パンク修理作業	手順書に従ってパンク修理作業を行う。
40	フレーム修正実演	フレームの修理修正作業を実演し、作業法と修正箇所を解説する。
41	フレーム修正実践	フレームの修理修正作業を行う。
42	タイヤ・チューブ交換手法	タイヤ、チューブ交換の手順を、手順書と動画で確認、学修する。

43	タイヤ・チューブ交換実践①	前車輪タイヤ・チューブの交換作業を体得する。
44	タイヤ・チューブ交換実践②	後車輪タイヤ・チューブの交換作業を体得する。
45	振れ取り作業手法	車輪の振れ取り作業を、手順書と動画で学習する。
46	振れ取り作業実践①	振れ取り作業を行い、作業そのものを憶える。
47	振れ取り作業実践②	振れ取り作業を誤差3mm以内に収める練習を行う。
48	前車輪交換作業	前車輪交換作業の手順を、手順書と講師実演で学修し理解する。
49	後車輪交換作業	後車輪交換作業の手順を、手順書と講師実演で学修し理解する。
50	ブレーキ部品交換作業解説	一般車ブレーキ部品の交換作業解説を行い、手順や各部品の作業法の違いを学修する。
51	ブレーキ部品交換作業実践①	前後ブレーキワイヤーの交換作業を行い体得する。
52	ブレーキ部品交換作業実践②	ブレーキシュー交換作業を反復練習し体得する。
53	専用工具解説	専用工具の名称と用途確認を行い、実際作業を実演する。
54	専用工具の使用法	専用工具を使って実作業を行い使用法を体得する。
55	ブレーキ本体と付属部品の交換作業	ブレーキ本体と付属部品の交換作業を、実例をもとに作業を行い学修する。
56	ブレーキのトラブルシューティング	ブレーキ周辺作業時のトラブルシューティングを行い、作業判別を学修する。
57	駆動部周辺作業解説	駆動、変速部の作業解説を行い、マニュアルを憶える。
58	外装変速機調整	外装変速調整と脱着交換作業を反復練習し、関連作業全体を体得する。
59	内装変速機調整	内装変速調整を反復練習し作業全体を体得する。
60	クランク、ペダルの交換作業	クランク、ペダルの脱着交換作業を反復練習し、関連作業全体を学修する。
61	チェーンとスプロケットの交換作業	チェーン脱着とリアスプロケットの作業を反復練習し、関連作業全体を学修する。
62	駆動部全体の交換作業	駆動、変速部の全体交換作業を反復練習する。
63	駆動部全体の調整作業	駆動、変速部の全体交換後の調整作業を反復練習する。
64	コンポーネント以外の交換作業解説	コンポーネント以外の車体校正部品の交換作業に関わる使用部材や作業法を解説、学修する。
65	ハンドルバー交換作業	ハンドルと周辺部品の交換、調整作業を反復練習し、関連作業を体得する。
66	サドル、ピラー交換作業	サドルとシートピラーの交換作業を反復練習し学修する。
67	ライトと電源部の交換作業	ライト本体と電源部の交換、調整作業を反復練習し作業を体得する。

68	アクセサリーの交換作業①	カゴ、ベル、フェンダー、リフレクターの交換作業を反復練習し、作業を体得する。
69	アクセサリーの交換作業②	ドレスガード、リング錠、キャリアの交換作業を反復練習し、作業を体得する。
70	アシスト自転車の商品化解説	電動アシスト車の商品化を、マニュアルを用いて手順を学修する。
71	特殊工具の解説	特殊工具の使用法を解説し、作業法と専用工具との差異を理解する。
72	特殊工具の作業実践	特殊工具の作業を実演後、実作業を行い使用法を体験する。
73	スポーツ車の作業カテゴリ（クロス、ロード）	車種別、用途ごとの作業カテゴリを学修する。
74	作業に関わる規格と数値（クロス、ロード）	車種別の作業規格と作業時のトルク管理等の数値を学修し作業に活かす。
75	DTシステムの作業（クロス、ロード）	ドライブトレイン全体の作業と規格をマニュアルと現物で学修する。
76	ブレーキの規格と数値（クロス、ロード）	各種ブレーキの作業と規格をマニュアルと現物で学修する。
77	ホイールの種類別規格（クロス、ロード）	WHシステムの概要を、マニュアルと現物で学修する。
78	セッティング①（クロス、ロード）	ステアリング関連のセッティング手法を解説、実作業を体得する。
79	セッティング②（クロス、ロード）	サドル関連のセッティング手法を解説、実作業を体得する。
80	セッティング③（クロス、ロード）	シフター、各種スイッチのセッティング手法を解説、実作業を体得する。
81	電動アシスト車ディーラー講習① （特別講師：矢的裕）	販売店向けディーラー作業講習の概要を学修する。
82	電動アシスト車ディーラー講習② （特別講師：矢的裕）	販売店向け技術講習の実施。バッテリーメンテナンスを学修する。
83	電動アシスト車ディーラー講習③ （特別講師：矢的裕）	販売店向け技術講習の実施。ドライブユニットの脱着を学修する。
84	電動アシスト車ディーラー講習④ （特別講師：矢的裕）	販売店向け技術講習の実施。ドライブユニットのメンテナンス、消耗品交換作業を学修する。
85	電動アシスト車ディーラー講習⑤ （特別講師：矢的裕）	販売店向け技術講習の実施。電装のメンテナンス、交換作業を学修する。
86	電動アシスト車ディーラー講習⑥ （特別講師：矢的裕）	販売店向け技術講習の実施。システムチェック作業をマニュアルで学修する。
87	電動アシスト車ディーラー講習⑦ （特別講師：矢的裕）	販売店向け技術講習の実施。システムチェック作業を実践し体得する。
88	電動アシスト車ディーラー講習⑧ （特別講師：矢的裕）	販売店向け技術講習の実施。電動アシスト部分以外の部品と電装部品との連結作業を実践し体得する。
89	切削工具の使用法	切削工具の使用法を実演、解説する。作業自体も体験する。
90	車両セッティング①（クロス、ロード）	展示用車両を実際に使用できる状態へのセッティングを実践、作業を体得する。
91	車両セッティング②（クロス、ロード）	使用できる状態の車両を、ライダーに合わせフィッティングする作業を体得する。
92	スポーツ車の作業カテゴリ（MTB）	車種別、用途ごとの作業カテゴリを学修する。

93	作業に関わる規格と数値 (MTB)	車種別の作業規格と作業時のトルク管理等の数値を学修し作業に活かす。
94	圧入工具の使用法	圧入工具の使用法を実演、解説する。作業自体も体験する。
95	電動アシスト車の修理作業①	実例をもとに駆動部品の修理交換作業の演習を行い、解決法を学修する。
96	電動アシスト車の修理作業②	実例をもとに電装部品の修理交換作業の演習を行い、解決法を学修する。
97	電動アシスト車の修理作業③	電動アシスト車のトラブルシューティング実例を学修し体得する。
98	キッズ車商品化	キッズ車の商品化をマニュアルに沿って学修、作業を体得する。
99	キッズ車分解	キッズ車をマニュアルに沿って分解し組立の準備を行う。
100	キッズ車組立①	キッズ車をマニュアルに沿って組み立て、評価表でのチェックを行う。
101	キッズ車組立②	評価後の車両改善点を修正し、合格基準値に収めるよう反復練習する。
102	装飾パーツの取り扱い	スタートアップマニュアル記載の装飾パーツの取り付け手法を種類別に学修する。
103	装飾パーツの規格	スタートアップマニュアルに記載されている装飾パーツの規格を学修し取り付けの準備を行う。
104	装飾パーツの取り付け作業①	車両前面に使用するパーツの取り付けを、マニュアル順に行い体得する。
105	装飾パーツの取り付け作業②	車両後面に使用するパーツの取り付けを、マニュアル順に行い体得する。
106	装飾パーツの修正作業	スモールパーツの分類を学修し、実際に修理作業を行い体得する。
107	他業種工具の使用①	汎用、専用工具以外の他業種で使用される工具の使用法を実演、学修する。
108	他業種工具の使用②	実際の作業を行い、使用法と注意点を体得する。
109	DTシステムの作業 (MTB)	ドライブトレイン全体の作業と規格をマニュアルと現物で学修する。
110	ブレーキの規格と数値 (MTB)	各種ブレーキの作業と規格をマニュアルと現物で学修する。
111	ホイールの種類別規格 (MTB)	WHシステムの概要を、マニュアルと現物で学修する。
112	セッティング① (MTB)	ステアリング関連のセッティング手法を解説、実作業で体得する。
113	セッティング② (MTB)	サドル関連のセッティング手法を解説、実作業を体得する。
114	セッティング③ (MTB)	シフター、各種スイッチのセッティング手法を解説、実作業で体得する。
115	セッティング④ (MTB)	サスペンションのセッティング手法を解説、乗車前の設定を実作業で体得する。
116	セッティング⑤ (MTB)	サスペンションのセッティング手法を解説、サスペンション自体の調整を行い作業を体得する。
117	メーカー7分商品化作業① (特別講師: 白倉寛司)	メーカー内での7分組立作業を、箱出しから部品組付けまで行う。

118	メーカー7分商品化作業②（特別講師：白倉寛司）	メーカー内での7分組立作業を、各部調整から拭き上げまで行う。		
119	メーカー7分商品化作業③（特別講師：白倉寛司）	商品化した車両を分解する。		
120	メーカー7分商品化作業④（特別講師：白倉寛司）	分解した車両を各部品ごとに保定し、箱内へ梱包する。		
教科書・教材		成績評価の方法	評価率	授業時間外の学修
ロードバイクメンテナンス（権出版） MTBメンテナンス（権出版） ロードバイク規格便利帳（権出版） サイクル・サイエンス（河出書房新社） スタートアップマニュアル（イオンバイク株式会社） ベーシックマニュアル（イオンバイク株式会社） アドバイザーマニュアル（イオンバイク株式会社） ディーラーズマニュアル（株式会社シマノ）		期末試験 授業態度	70.0% 30.0%	各講義で実施した内容をノート等利用して復習する。関連する参考図書等を定期的に読み予備知識を得る。

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
イオンバイク技術検定		イオンバイク社員養成学科 /1年	2020/通年	講義・実習
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	60回	120単位時間	必須	高橋 弘
授業の概要				
・イオンバイク株式会社の「サイクルスタッフ」と「サイクルアドバイザー」の技能を学修し、店頭販売時の車両整備や修理作業を行うための技術を身に付ける。				
授業終了時の到達目標				
・イオンバイク株式会社「サイクルスタッフ」の技能を習得し、同基準内で自転車販売時の整備と軽微な修理作業が行える。 ・イオンバイク株式会社「サイクルアドバイザー」の技能を習得し、同基準内で車両の完全分解及び組み立てが行え、部品交換と修理作業が行える。				
実務経験有無		実務経験内容		
有		自転車販売店の店長または責任者として5年以上の店舗運営実務に従事する。		
時間外に必要な学修				
講義ノート等を利用して、予習・復習につとめ、授業の習熟を図る。				
回	テーマ	学修内容		
1	サイクルスタッフ検定対策1	修理受付：修理手続き手順を理解する		
2	サイクルスタッフ検定対策2	パンク修理・後ろタイヤチューブ交換1：全体作業流れを理解する		
3	サイクルスタッフ検定対策3	Vブレーキ調整・変速機調整1：全体作業流れを理解する		
4	サイクルスタッフ検定対策4	振り返りチェック1		
5	サイクルスタッフ検定対策5	販売時整備を実践する		
6	サイクルスタッフ検定対策6	パンク修理・後タイヤチューブ交換2：作業を実践する		
7	サイクルスタッフ検定対策7	Vブレーキ調整・変速機調整2：作業を実践する		
8	サイクルスタッフ検定対策8	振り返りチェック2		
9	サイクルスタッフ検定対策9	イオンバイク筆記問題の理解を深める		
10	サイクルスタッフ検定対策10	パンク修理・後タイヤチューブ交換3：作業時間短縮と精度向上につなげる作業の実践+E28:H33		
11	サイクルスタッフ検定対策11	Vブレーキ調整・変速機調整3：作業時間短縮と精度向上につなげる作業の実践		
12	サイクルスタッフ検定対策12	振り返りチェック3		
13	サイクルスタッフ検定対策13	タイムトライアル（Vブレーキ調整、変速機調整、販売時整備）		
14	サイクルスタッフ検定対策14	後タイヤチューブ交換タイムトライアル		
15	サイクルスタッフ検定対策15	パンク修理タイムトライアル		
16	サイクルスタッフ検定対策16	Vブレーキ調整・変速調整タイムトライアル		

17	サイクルスタッフ検定対策17	販売時整備考査
18	サイクルスタッフ検定対策18	パンク修理・後タイヤチューブ交換考査
19	サイクルスタッフ検定対策19	Vブレーキ調整・変速調整考査
20	サイクルスタッフ検定対策20	振り返り4
21	サイクルスタッフ検定対策21	イオンバイクサイクルスタッフ検定1：筆記試験
22	サイクルスタッフ検定対策22	イオンバイクサイクルスタッフ検定2：実技試験① 「販売時整備」「パンク修理」
23	サイクルスタッフ検定対策23	イオンバイクサイクルスタッフ検定3：実技試験② 「後車輪タイヤ・チューブ交換」
24	サイクルスタッフ検定対策24	イオンバイクサイクルスタッフ検定4：実技試験③ 「Vブレーキ調整」「外装6段変速調整」
25	アドバイザー検定対策1	分解作業1：作業全体の流れを理解する
26	アドバイザー検定対策2	分解作業2：重点箇所の説明と実践
27	アドバイザー検定対策3	組立作業1：ギア歯の取付からBBの取付作業までを実践
28	アドバイザー検定対策4	組立作業2：チェーンケースの取付から拭きあげ作業までを実践
29	アドバイザー検定対策5	分解作業3：ペダルの取り外しからブレーキシューの取り外し作業までを実践
30	アドバイザー検定対策6	分解作業4：前ドロヨケの取り外しからギア歯の取り外し作業までを実践
31	アドバイザー検定対策7	組立作業3：ギア歯の取付からBBの取付作業までを考察する
32	アドバイザー検定対策8	組立作業4：チェーンケースの取付から拭きあげ作業までを考察する
33	アドバイザー検定対策9	分解通し作業：分解作業を実践する
34	アドバイザー検定対策10	組立通し作業1：課題を明確化し組立作業を実践する①
35	アドバイザー検定対策11	組立通し作業2：課題を明確化し組立作業を実践する②
36	アドバイザー検定対策12	出来上がりチェック：各自の課題を明確化する
37	アドバイザー検定対策13	分解タイムトライアル
38	アドバイザー検定対策14	組立タイムトライアル1：時間短縮と精度向上につながる作業を考察しながら実践①
39	アドバイザー検定対策15	組立タイムトライアル2：時間短縮と精度向上につながる作業を考察しながら実践②
40	アドバイザー検定対策16	相互チェックによる、課題の原因を考察する
41	アドバイザー検定対策17	分解考査

42	アドバイザー検定対策18	組立考査1：制限時間内に調整を完了させ、お客さまへお渡しできる状態にする		
43	アドバイザー検定対策19	組立考査2：制限時間内に調整を完了させ、お客さまへお渡しできる状態にする		
44	アドバイザー検定対策20	採点		
45	アドバイザー検定対策21	組み立て前分解作業		
46	アドバイザー検定対策22	組立考査反復1：制限時間内に調整を完了させ、お客さまへお渡しできる状態にする		
47	アドバイザー検定対策23	組立考査反復2：制限時間内に調整を完了させ、お客さまへお渡しできる状態にする		
48	アドバイザー検定対策24	相互チェック		
49	アドバイザー検定対策25	分解考査		
50	アドバイザー検定対策26	組立考査反復3：制限時間内に調整を完了させ、お客さまへお渡しできる状態にする		
51	アドバイザー検定対策27	組立考査反復4：制限時間内に調整を完了させ、お客さまへお渡しできる状態にする		
52	アドバイザー検定対策28	採点		
53	アドバイザー検定対策29	振り返り1		
54	アドバイザー検定対策30	振り返り2		
55	アドバイザー検定対策31	振り返り3		
56	アドバイザー検定対策32	振り返り4		
57	アドバイザー検定対策33	分解考査		
58	アドバイザー検定対策34	組立考査反復5：制限時間内に調整を完了させ、お客さまへお渡しできる状態にする		
59	アドバイザー検定対策35	組立考査反復6：制限時間内に調整を完了させ、お客さまへお渡しできる状態にする		
60	アドバイザー検定対策36	採点		
教科書・教材		成績評価の方法	評価率	授業時間外の学修
<ul style="list-style-type: none"> ・スタートアップマニュアル（イオンバイク株式会社） ・手順書マニュアル（イオンバイク株式会社） ・携帯工具 		期末試験 授業態度	70.0% 30.0%	各講義で実施した内容をノート等利用して復習する。

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
店舗基礎実施概論		イオンバイク社員養成学科 /1年	2020/通年	講義・実習
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	60回	120単位時間	必須	吉村 洋三
授業の概要				
<ul style="list-style-type: none"> ・販売店業務を学習し、店舗業務を円滑に遂行するための接客技能を学修する。 ・店舗での研修を行い、販売店業務を体得する。 				
授業終了時の到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> ・イオンバイク店舗での接客、受注、お渡し作業を理解し、遂行出来るようになる。 				
実務経験有無		実務経験内容		
有		自転車販売店の店長または責任者として5年以上の店舗運営、経営実務に従事する。		
時間外に必要な学修				
講義ノート等を利用して、予習・復習につとめ、授業の習熟を図る。				
回	テーマ	学修内容		
1	商品お渡し作業	商品のお渡しフロー、書類の作製成法を学修し理解する。		
2	車種別お渡しリスト作成	カウンター誘導からお見送りまでの想定リストを作成しディスカッションを行う。		
3	カウンター対応の学修	説明責任項目やクレーム要因を分析し、対処法を学修する。		
4	カウンター対応実践	説明項目、クレーム実例をモデルショップでシミュレーション学修する。		
5	商品お渡しロールプレイン	商品お渡し時の目線や表情の作り方を解説。各種説明項目と併せてロールプレインを行う。		
6	商品説明ロールプレイン	呼び出しからお見送りまでの流れを15分×1回でシミュレーションを行う。		
7	一般車の機能説明	車種の特長と使用法説明を学修。ロールプレインを行う。		
8	納車ロールプレイン	実際の車両、書類を用いて作業全体をロールプレインし体得する。		
9	キッズ、子乗せ車両の説明項目	キッズ、子乗せ車両の機能、使用法の説明項目をリスト化し、ロールプレインで説明を学修する。		
10	キッズ、子乗せ車両のお渡し作業実践	実際の車両、書類を用いて作業全体をロールプレインし体得する。		
11	クロスバイク、シティ車の説明項目	クロス、シティ車両の機能、使用法の説明項目をリスト化し、ロールプレインで説明を学修する。		
12	クロスバイク、シティ車のお渡し作業実践	実際の車両、書類を用いて作業全体をロールプレインし体得する。		
13	一般車のフィッティング	一般車フィッティングの概要をマニュアルで解説。疾病対策等をふまえ、セッティング作業を理解する。		
14	サドルフィッティング（一般車）	サドル部のフィッティング法をロールプレインで実践し体得する。		
15	ハンドルセッティング（一般車）	ハンドル部のフィッティング法をロールプレインで実践し体得する。		
16	フィッティングシミュレーション（一般車）	車両全体のフィッティングと会話応酬の想定問答を学修し、ロールプレインで実践する。		
17	トラブルシューティング（一般車）	一般車のフィッティングにまつわるトラブルシューティングを行う。		

18	トラブルシューティング（シティ車）	シティ車のフィッティングにまつわるトラブルシューティングを行う。
19	その他のフィッティング（キッズ、アシスト車）	キッズ、アシスト車フィッティングの概要をマニュアルで解説。疾病対策等、セッティング作業を理解する。
20	フィッティングシミュレーション（キッズ車）	キッズ車両全体のフィッティングと会話応酬（保護者）の想定問答を学修し、ロールプレインで実践する。
21	フィッティングシミュレーション（アシスト車）	アシスト車両全体のフィッティングと会話応酬の想定問答を学修し、ロールプレインで実践する。
22	店舗インターンシップ1-1	店頭挨拶、来客の声掛けを中心に実践。フローチャートと照らし合わせ課題を克服する。
23	店舗インターンシップ1-2	店内のクリンリネス確認と、不備の修正を行う。
24	店舗インターンシップ1-3	催事等のレイアウト管理と商品整理を行い、売り場の作り方を学修する。
25	店舗インターンシップ1-4	レジ以外のカウンター受付を行う。マニュアルとの差異を確認し対応方を学修する。
26	電動アシストの子乗せフィッティング	ハンドル部と子乗せ連結部の作業法を学修し、マニュアル記載の数値に収める反復練習を行う。
27	電動アシストの子乗せトラブルシューティング	ハンドル部と子乗せ連結部のトラブルシューティングを行う。
28	店舗インターンシップ2-1	ピットでの皮むき作業を実践。シミュレーションで実施できない部分を体得する。
29	店舗インターンシップ2-2	納車直後の車両商品化から陳列までを実践する。
30	店舗インターンシップ2-3	車両の項目別点検を学修し実践する。
31	店舗インターンシップ2-4	項目別点検の確認を責任者に依頼し不足分を反復練習する。
32	フィッティングシミュレーション（ロード）	ロード車フィッティングの概要をマニュアルで解説。疾病対策等をふまえ、セッティング作業を理解する。
33	フィッティングシミュレーション（MTB）	MTB車フィッティングの概要をマニュアルで解説。疾病対策等をふまえ、セッティング作業を理解する。
34	ロードレーサーのトラブルシューティング	ロード車のフィッティングにまつわるトラブルシューティングを行う。
35	MTBのトラブルシューティング	MTB車のフィッティングにまつわるトラブルシューティングを行う。
36	店舗インターンシップ3-1	パンク修理作業を可能な限りの回数行う。評価基準内に収まるまで繰り返し反復作業する。
37	店舗インターンシップ3-2	タ・チ交換作業を実践し、評価表の基準内におさめる。
38	店舗インターンシップ3-3	Vブレーキの調整を実践し、評価表の基準内におさめる。
39	店舗インターンシップ3-4	外装変速機調整（6段）を実践し、評価表の基準内におさめる。
40	接客時のシーンメイク	車両接客のシーンメイクを行い、応酬内容のシミュレーションシートを作成、研修時に使用できるようにする。
41	接客時のクロージング	シーンメイクを踏まえてクロージングのシミュレーションシートを作成、研修時に使用できるようにする。
42	店舗インターンシップ4-1	好感度接客を責任者実施時に学修し、マニュアルと照らし合わせ差異を確認する。

43	店舗インターンシップ4-2	あんしんパックの説明と加入手続きを目標値まで実施する。		
44	店舗インターンシップ4-3	ビスパの説明と加入案内を目標値まで実施する。		
45	店舗インターンシップ4-4	修理作業の受付と作業を実施、回数と内容をカルテに書き起こす。		
46	店舗インターンシップ5-1	好感度接客をマニュアル記載の範疇で実践する。		
47	店舗インターンシップ5-2	商品の補充と陳列をマニュアルに従い実践し、目標値の範囲を完成させる。		
48	店舗インターンシップ5-3	完成車両の品出しを実践する。商品化が必要な場合は併せて実施する。		
49	店舗インターンシップ5-4	アクセサリーの在庫確認と品出しを実践し、目標値のフェイスを完成させる。		
50	店舗インターンシップ6-1	接客時に購入理由アンケートを回収し理由ごとに分類する。		
51	店舗インターンシップ6-2	接客時に購入理由アンケートを回収し理由ごとに分類する。		
52	店舗インターンシップ6-3	購入理由アンケートを分類ごとにデータ作成し保管する。		
53	店舗インターンシップ6-4	購入理由アンケートの分類データから店舗の客層と系統を作成する。		
54	店舗インターンシップ7-1	早得のご案内を接客マニュアルに組み込み実践する。		
55	店舗インターンシップ7-2	5%オフのご案内を接客マニュアルに組み込み実践する。		
56	店舗インターンシップ7-3	接客総数の割引案内結果をデータで作成する。		
57	店舗インターンシップ7-4	案内結果をフローチャートに照らし合わせ分析する。		
58	店舗インターンシップ8-1	競合店調査内容との手法を学修する。		
59	店舗インターンシップ8-2	競合店調査を実施し、データをまとめる。		
60	店舗インターンシップ8-3	競合店調査の結果から、担当店へのフィードバックを実施する。		
教科書・教材		成績評価の方法	評価率	授業時間外の学修
サイクル・サイエンス（河出書房新社） スタートアップマニュアル（イオンバイク株式会社） 手順書マニュアル（イオンバイク株式会社）		期末試験 授業態度	70.0% 30.0%	各講義で実施した内容をノート等利用して復習する。関連する参考図書等を定期的に読み予備知識を得る。

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
自転車イベント概論		イオンバイク社員養成学科 /1年	2020/通年	講義・実習
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	60回	120単位時間	必須	大森 祥
授業の概要				
<ul style="list-style-type: none"> ・ 自転車を使用するイベントの企画、実施と参加を通じて、プランニング全体を学修する。 ・ 店頭イベントのプランを作成するため、既存イベントへ参加しスタッフ業務を学修する。 				
授業終了時の到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> ・ 自転車を使用したイベントを企画、実施出来るようになる。 				
実務経験有無		実務経験内容		
有		自転車販売店の店長または責任者として5年以上の店舗運営、経営実務に従事する。		
時間外に必要な学修				
講義ノート等を利用して復習する。関連する参考図書等を定期的に読み予備知識を得る。				
回	テーマ	学修内容		
1	イベントプランニング	自転車イベントの考え方、具体的な実施方法を解説。国内外の開催事例をもとに学修する。		
2	イベントプランの立案手法	ツーリングイベント立案の解説。疑似プランを作成し手法を理解する。		
3	MTBインストラクター講習①（特別講師：岡本勇）	ツーリング事前準備と当日の車両点検法を学修する。		
4	MTBインストラクター講習②（特別講師：岡本勇）	走行速度に合わせた車体の制動方法をパイロンで練習する。		
5	MTBインストラクター講習③（特別講師：岡本勇）	転倒時の転び方と転倒後のトラブルチェック法を学修する。		
6	MTBインストラクター講習④（特別講師：岡本勇）	トラブル時にベースへ戻るための臨時メンテナンス法を学修する。		
7	散走とは何か	講師作成の散走プランを解説し、立案からクロージングまでを学修する。		
8	散走体験①	講師作成のプランを体験し、散走の概要を学修する。		
9	散走体験②	講師作成のプランを体験し、散走の概要を学修する。		
10	散走プランの作り方	体験したプランをもとに、事前準備の種類や資料作成を学修し、グループに分かれて仮案を立てる。		
11	散走プラン作成 1-1	グループに分かれプランを検討、行き先と目的を連動させて作成する。		
12	散走実施 1-2	プランを実施し、スケジュール運用や事前手配の実践、走行時の注意点や目的地でのアテンドを行う。		
13	散走実施 1-3	プランを実施し、スケジュール運用や事前手配の実践、走行時の注意点や目的地でのアテンドを行う。		
14	散走実施 1-4	プランを実施し、スケジュール運用や事前手配の実践、走行時の注意点や目的地でのアテンドを行う。		
15	散走プランの振り返り 1-5	実施したプランの振り返りを行い、課題点や改善点をディスカッションし次回プランニングで修正を行う。		
16	散走プラン作成 2-1	グループに分かれプランを検討、行程の順序とルートに考慮して作成する。		

17	散走実施 2-2	スタッフ、参加者の役割に分かれそれぞれの視点でプランの課題点を見つける。
18	散走実施 2-3	スタッフ、参加者の役割に分かれそれぞれの視点でプランの課題点を見つける。
19	散走実施 2-4	スタッフ、参加者の役割に分かれそれぞれの視点でプランの課題点を見つける。
20	散走プランの振り返り 2-5	振り返りを行い、各視点からの課題点をディスカッションし改善案を作成する。
21	イベントスタッフ概要解説	ツールドのと参加概要解説を行い、スケジュールとスタッフ業務の確認を実施。
22	スタッフ業務内容の学修	スタート地点業務、給水業務、昼食会場業務、ゴール地点業務ごとにグルーピングを行い、業務詳細を学修する。
23	参加携行物準備①	ツールドのと参加のための自車両を整備し、移動メカニク作業の携行物準備を行う。
24	参加携行物準備②	ツールドのと参加のための自車両を整備し、移動メカニク作業の携行物準備を行う。
25	ツールドのと参加 1-1	実走行メカニクと各ポイントスタッフ業務を実施する。
26	ツールドのと参加 1-2	実走行メカニクと各ポイントスタッフ業務を実施する。
27	ツールドのと参加 1-3	実走行メカニクと各ポイントスタッフ業務を実施する。
28	ツールドのと参加 1-4	実走行メカニクと各ポイントスタッフ業務を実施する。
29	ツールドのと参加 2-1	実走行メカニクと各ポイントスタッフ業務を実施する。
30	ツールドのと参加 2-2	実走行メカニクと各ポイントスタッフ業務を実施する。
31	ツールドのと参加 2-3	実走行メカニクと各ポイントスタッフ業務を実施する。
32	ツールドのと参加 2-4	実走行メカニクと各ポイントスタッフ業務を実施する。
33	ツールドのと参加 3-1	実走行メカニクと各ポイントスタッフ業務を実施する。
34	ツールドのと参加 3-2	実走行メカニクと各ポイントスタッフ業務を実施する。
35	ツールドのと参加 3-3	実走行メカニクと各ポイントスタッフ業務を実施する。
36	ツールドのと参加 3-4	実走行メカニクと各ポイントスタッフ業務を実施する。
37	ツールドのと参加の振り返り①	ツールドのと参加時の業務別にレポートを作成。それぞれの日程ごとに課題点を洗い出す。
38	ツールドのと参加の振り返り②	ツールドのと参加時の業務別にレポートを作成。それぞれの日程ごとに課題点を洗い出す。
39	散走プラン作成 3-1	グループに分かれプランを作成後、コンペを実施しプランを絞り込み再作成する。
40	散走実施 3-2	スタッフ（A）、参加者（B）の役割に分かれそれぞれの視点でプランの課題点を見つける。
41	散走実施 3-3	スタッフ（A）、参加者（B）の役割に分かれそれぞれの視点でプランの課題点を見つける。

42	散走実施 3-4	スタッフ（A）、参加者（B）の役割に分かれそれぞれの視点でプランの課題点を見つける。		
43	散走プランの振り返り 3-5	振り返りを行い、各視点からの課題点をディスカッションし改善案を作成する。		
44	散走プラン作成 3-6	改善プランを再構築し、グループの役割を入れ替え再度実施する。		
45	散走実施 3-7	スタッフ（B）、参加者（A）の役割に分かれそれぞれの視点でプランの課題点を見つける。		
46	散走実施 3-8	スタッフ（B）、参加者（A）の役割に分かれそれぞれの視点でプランの課題点を見つける。		
47	散走実施 3-9	スタッフ（B）、参加者（A）の役割に分かれそれぞれの視点でプランの課題点を見つける。		
48	散走プランの振り返り 3-10	改善箇所がどのように修正されていたかをディスカッションし、不足分の分析を行う。		
49	シマノイベントスタッフ実践 1-1 （特別講師：射手矢吉秀）	イベントの概要解説とツーリング部門、補給部門、本部業務の詳細解説を行う。		
50	シマノイベントスタッフ実践 1-2 （特別講師：射手矢吉秀）	コース修正、コースチェックを実施後、出走準備補給地点の準備を行う。		
51	シマノイベントスタッフ実践 1-3 （特別講師：射手矢吉秀）	各ポイントの業務を実施し、スタッフ業務を学修する。		
52	シマノイベントスタッフ実践 1-4 （特別講師：射手矢吉秀）	各ポイントごとの反省会を実施、翌日へフィードバックする。		
53	シマノイベントスタッフ実践 2-1 （特別講師：射手矢吉秀）	各ポイントの業務を実施し、スタッフ業務を学修する。		
54	シマノイベントスタッフ実践 2-2 （特別講師：射手矢吉秀）	各ポイントの業務を実施し、スタッフ業務を学修する。		
55	シマノイベントスタッフ実践 2-3 （特別講師：射手矢吉秀）	各ポイントの業務を実施し、スタッフ業務を学修する。		
56	シマノイベントスタッフ実践 2-4 （特別講師：射手矢吉秀）	各ポイントごとの反省会を実施、翌日へフィードバックする。		
57	シマノイベントスタッフ実践 3-1 （特別講師：射手矢吉秀）	各ポイントの業務を実施し、スタッフ業務を学修する。		
58	シマノイベントスタッフ実践 3-2 （特別講師：射手矢吉秀）	各ポイントの業務を実施し、スタッフ業務を学修する。		
59	シマノイベントスタッフ実践 3-3 （特別講師：射手矢吉秀）	各ポイントごとに撤収作業を実施する。		
60	シマノイベントスタッフ実践 3-4 （特別講師：射手矢吉秀）	レポートを作成発表し、課題点と改善点の共有を行う。		
教科書・教材		成績評価の方法	評価率	授業時間外の学修
散走読本（株式会社シマノ） 講師資料		期末試験 授業態度	70.0% 30.0%	各講義で実施した内容をノート等利用して復習する。関連する参考図書等を定期的に読み予備知識を得る。

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
経営基礎		イオンバイク社員養成学科 /1年	2020/通年	講義
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	60回	120単位時間	必須	高橋 弘
授業の概要				
・イオンバイク株式会社の会社情報、社内知識とイオン従業員の心得、商業経営知識を学修し、習得を目指す。				
授業終了時の到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> ・イオンバイクの基礎知識を理解し実践できる ・イオン従業員の基礎となる考え方を理解し実践できる ・仕入れから販売までを数字でとらえる事ができる 				
実務経験有無	実務経験内容			
有	自転車販売企業での店舗統括業務に5年以上従事する。			
時間外に必要な学修				
講義ノート等を利用して、予習・復習につとめ、授業の習熟を図る。				
回	テーマ	学修内容		
1	イオンのバックボーン	イオンのバックボーンを理解する		
2	商人の基本精神	映画「天秤の唄」視聴から学ぶ商人の基本精神を学ぶ		
3	イオンの基本理念・行動規範①	イオン基本理念・行動規範：イオンの基本理念と考え方を学ぶ①		
4	イオンの基本理念・行動規範②	イオン基本理念・行動規範：イオンの基本理念と考え方を学ぶ②		
5	わたくしたちのつとめ①	わたくしたちのつとめ：従業員としての心づもりを学ぶ①		
6	わたくしたちのつとめ②	わたくしたちのつとめ：従業員としての心づもりを学ぶ②		
7	わたくしたちのつとめ③	わたくしたちのつとめ：従業員としての心づもりを学ぶ③		
8	わたくしたちのつとめ④	わたくしたちのつとめ：従業員としての心づもりを学ぶ④		
9	接客対応①	接客対応：販売の5大用語・挨拶とお辞儀・身だしなみを学ぶ①		
10	接客対応②	接客対応：販売の5大用語・挨拶とお辞儀・身だしなみを学ぶ②		
11	接客対応③	接客対応：販売の5大用語・挨拶とお辞儀・身だしなみを学ぶ③		
12	接客対応④	接客対応：販売の5大用語・挨拶とお辞儀・身だしなみを学ぶ④		
13	接客対応⑤	接客対応：販売の5大用語・挨拶とお辞儀・身だしなみを学ぶ⑤		
14	接客対応⑥	接客対応：販売の5大用語・挨拶とお辞儀・身だしなみを学ぶ⑥		
15	接客対応⑦	接客対応：販売の5大用語・挨拶とお辞儀・身だしなみを学ぶ⑦		
16	接客対応⑧	接客対応：販売の5大用語・挨拶とお辞儀・身だしなみ⑧		
17	スタートマニュアル①	接客対応：スタートアップマニュアル① 接客基礎：「おもてなし」の心を理解する		

18	スタートマニュアル②	接客対応：スタートアップマニュアル② 接客対応のアプローチからお見送りまでの一連の流れを理解する
19	スタートマニュアル③	接客対応：スタートアップマニュアル③ 自転車の陳列基準を理解する
20	スタートマニュアル④	接客対応：スタートアップマニュアル④ 自転車販売時の手続き方法を理解する
21	スタートマニュアル⑤	接客対応：スタートアップマニュアル⑤ 修理受付手順を理解する
22	スタートマニュアル⑥	接客対応：スタートアップマニュアル⑥ 荷受・検収手続きを理解する
23	売価・原価と値入額①	イオンの数字Ⅰ：売価・原価と値入額との関係を理解する
24	売価・原価と値入額②	イオンの数字Ⅰ：売価・原価と値入額の応用編 しくみを理解する
25	荒利益高と荒利益率①	イオンの数字Ⅰ：荒利益高と荒利益率との関係を理解する
26	荒利益高と荒利益率②	イオンの数字Ⅰ：荒利益高と荒利益率の応用編 しくみを理解する
27	値入額、荒利益高と売価変更とロス	イオンの数字Ⅰ：値入額、荒利益高と売価変更とロスの関係について学ぶ
28	イオンの数字Ⅰ-1	イオンの数字Ⅰ：値入高と荒利益高のしくみを理解する
29	イオンの数字Ⅰ-2	イオンの数字Ⅰ：応用編 しくみを理解する 1
30	イオンの数字Ⅰ-3	イオンの数字Ⅰ：応用編 しくみを理解する 2
31	仕入、売上と在庫①	イオンの数字Ⅱ：「仕入、売上と在庫」期間の流れで理解する
32	仕入、売上と在庫②	イオンの数字Ⅱ：「仕入、売上と在庫」数量、原価、売価でとらえた場合を理解する
33	仕入、売上と在庫③	イオンの数字Ⅱ：「仕入、売上と在庫」仕組みを理解する
34	仕入、売上と在庫④	イオンの数字Ⅱ：「仕入、売上と在庫」仕組みを理解する
35	仕入、売上と在庫と値入、荒利	イオンの数字Ⅱ：ある一定期間における値入率や荒利益率の考え方について理解する
36	仕入、売上、在庫と売価変更、ロス①	イオンの数字Ⅱ：売価変更とロスが発生した場合の変化を理解する①
37	仕入、売上、在庫と売価変更、ロス②	イオンの数字Ⅱ：売価変更とロスが発生した場合の変化を理解する②
38	仕入、売上、在庫と売価変更、ロス③	イオンの数字Ⅱ：売価変更とロスが発生した場合の変化を理解する③
39	イオンの数字Ⅱ：「仕入、売上、在庫」の振り返り①	イオンの数字Ⅱ：売場の数値を基に理解を深める①
40	イオンの数字Ⅱ：「仕入、売上、在庫」の振り返り②	イオンの数字Ⅱ：売場の数値を基に理解を深める②
41	回転日数	イオンの数字Ⅱ：回転日数について理解する
42	回転率	イオンの数字Ⅱ：回転率について理解する

43	回転日数、回転率①	イオンの数字Ⅱ：回転日数と回転率の関係を理解する		
44	回転日数、回転率②	イオンの数字Ⅱ：回転率、回転日数の意味することを理解し、在庫管理について学ぶ		
45	棚卸	イオンの数字Ⅱ：棚卸の目的を理解する		
46	棚卸とロス	イオンの数字Ⅱ：ロスの種類としくみを理解する		
47	売上高と客数、客単価①	イオンの数字Ⅲ：客数の種類と客単価のしくみを理解する		
48	売上高と客数、客単価②	イオンの数字Ⅲ：「客数・客単価・一点単価」売上高を分解し理解を深める		
49	買上率	イオンの数字Ⅲ：買上率の種類を知る		
50	人時生産性①	イオンの数字Ⅲ：人時生産性を知る		
51	人時生産性②	イオンの数字Ⅲ：人時生産性を高める仕組みを理解する		
52	カテゴリー別実績	イオンの数字Ⅱ：売場の実績を基に理解を深める		
53	クリンリネス	販売の基礎知識Ⅰ：売場の具体例を基にクリンリネスについて学ぶ		
54	フェイスング	販売の基礎知識Ⅰ：フェイスングと売上の関係について学ぶ		
55	前進立体陳列	販売の基礎知識Ⅰ：前進立体陳列の効果から作り方について学ぶ		
56	POPの目的	販売の基礎知識Ⅰ：POPの目的を理解する		
57	プライスカード	販売の基礎知識Ⅰ：プライスカードの種類と見方を知る		
58	ライフサイクル	販売の基礎知識Ⅰ：商品のライフサイクルの種類を知る		
59	イオンの数字まとめ①	イオンの数字Ⅲ：応用編にて理解を深める①		
60	イオンの数字まとめ②	イオンの数字Ⅲ：応用編にて理解を深める②		
教科書・教材		成績評価の方法	評価率	授業時間外の学修
<ul style="list-style-type: none"> ・イオンの数字Ⅰ／Ⅱ／Ⅲ（イオンバイク株式会社） ・わたしたちのつとめ（イオンバイク株式会社） ・スタートアップマニュアル（イオンバイク株式会社） ・イオン統一用語集（イオンバイク株式会社） 		期末試験 授業態度	70.0% 30.0%	各講義で実施した内容をノート等利用して復習する。

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
一般教養		イオンバイク社員養成学科 /1年	2020/通年	講義
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	30回	60単位時間	必須	大森 祥
授業の概要				
<ul style="list-style-type: none"> ・言語能力、非言語能力を含む総合適性検査、SPI等の採用試験対策を行う。 ・特別講義により教養を学修する。 				
授業終了時の到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> ・模擬試験で合格基準に到達できる。 				
実務経験有無		実務経験内容		
無				
時間外に必要な学修				
講義ノート等を利用して、予習・復習につとめ、授業の習熟を図る。				
回	テーマ	学修内容		
1	生活・家計設計（特別講師：松本大輝）	家計管理の目的と出納帳作成法を学修する。		
2	ローン・クレジット（特別講師：松本大輝）	ローン・クレジットの仕組みと、各種計算法を学修する。		
3	金銭トラブル（特別講師：松本大輝）	詐欺や名義貸し、カード不正利用を実例をもとに学修する。		
4	労働法規	労働法全般を学修し、時間や賃金算出、ハラスメント等を理解する。		
5	文章作成	文章の読み書き、句読点等の文章作成法を学修する。		
6	文章題、代金の清算（非言語）	xを使用した計算式の解き方（鶴亀算）とx、yを使用した対比計算を解説、練習問題で学修する。		
7	割合と比、整数の式（非言語）	割合と比の計算式と、四則演算の解き方を解説、練習問題で学修する。		
8	料金の割引、分割払い（非言語）	割引時の支払い計算式と均等、不均等の解の求め方を解説、練習問題で学修する。		
9	損益算、速さ（非言語）	三種の単価の求め方と、速さ（距離、時間）の求め方を解説し、練習問題で学修する。		
10	場合の数、確率（非言語）	順列と組み合わせ（P）と、確率の求め方を解説し、練習問題で学修する。		
11	図表の読み取り、集合（非言語）	図表中の割合、量と、キャロル使い方を解説し、練習問題で学修する。		
12	グラフの領域（非言語）	計算式とグラフの傾き、放物線の結びつけ方を解説し、練習問題で学修する。		
13	ブラックボックス（非言語）	ボックス内の推測法（計算、比較、逆転、数式）を解説し、練習問題で学修する。		
14	長文読み取り（非言語）	対比の割合と増加（減少）率の求め方を解説し、練習問題で学修する		
15	推論（非言語）	推論（順序、論理、勝敗、数量、密度）の求め方を解説し、練習問題で学修する。		
16	二語の関係（言語問題）	二語の関係性の考え方を解説し、練習問題で学修する。		
17	熟語の成り立ち（言語問題）	5種類の選択それぞれの解説を行い、練習問題で学修する。		

18	語句の意味（言語問題）	消去法での解き方を解説し、練習問題で学修する。		
19	語句の用法（言語問題）	表現の置き換え、漢字への変換、単語の役割の三種解答法を解説し、練習問題で学修する。		
20	適文補充（言語問題）	接続詞や言い換えからの解答法と、結論からの解答法を解説し、練習問題で学修する。		
21	三文完成（言語問題）	因果関係や主語述語の一致確認法を解説し、練習問題で学修する。		
22	適語補充（言語問題）	文中からの抜き出し方と問題への結びつきからの解答法を解説し、練習問題で学修する。		
23	文の並び替え（言語問題）	文節タイプと長文タイプの解答法をそれぞれ解説し、練習問題で学修する。		
24	長文読解（言語問題）	長文のテーマ抜き出しと趣旨の抽出の仕方を解説し、練習問題で学修する。		
25	性格検査（言語問題）	性格検査の概要と回答の仕方を解説し、問題の意図と適切な回答形式を理解する。		
26	S P I 模擬試験 1 - 1	言語、非言語問題の模擬試験を行い、合格基準の到達確認を行う。		
27	S P I 模擬試験のフィードバック 1 - 2	答え合わせを実施し、誤答部分の解説と、正しい解答のフィードバックを行う。		
28	S P I 模擬試験 2 - 1	言語、非言語問題の模擬試験を行い、合格基準の到達確認を行う。性格検査の模擬試験も同時に行う。		
29	S P I 模擬試験のフィードバック 2 - 2	答え合わせを実施し、誤答部分の解説と、正しい解答のフィードバックを行う。		
30	性格検査模擬試験のフィードバック 2 - 3	回答内容の解説と、適切な選択肢のフィードバックを行う。		
教科書・教材		成績評価の方法	評価率	授業時間外の学修
講師資料		期末試験 授業態度	70.0% 30.0%	各講義で実施した内容をノート等利用して復習する。

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
オフィス実習		イオンバイク社員養成学科 /1年	2020/通年	講義
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	60回	120単位時間	必須	松本 仁
授業の概要				
<p>・情報化社会と表現される現代において、コンピュータなどICT機器の知識、操作は必要不可欠であり、それらの操作を身につけ、使いこなすことが出来るようにすることを目的とする。 主に、「文書作成技術」「表計算技術」「プレゼンテーション能力」を身につけるための講義を行う。</p>				
授業終了時の到達目標				
<p>・文書作成ソフト：ビジネス文書及びチラシなどを作成できる。 ・表計算ソフト：目的に合わせた表の作成やデータベース管理、表計算などができる。 ・プレゼンテーションソフト：スライドの作成を通して、自己表現能力を身につける。</p>				
実務経験有無	実務経験内容			
無				
時間外に必要な学修				
講義ノート等を利用して、予習・復習につとめ、授業の習熟を図る。				
回	テーマ	学修内容		
1~2	・パソコンでできること ・入力のいろは	パソコンの仕組み・ウィンドウの調整を学修し、テキストの入力練習を行う。		
3~4	入力練習	句読点のある文章入力・同音異義語に注意し、文節を移動して変換・数字や記号の入った文章の入力を練習する。		
5~6	WORD入門① ワードで文書作成	ワードの画面構成を理解し、文書の入力・追加や改行と空白の作り方を学修する。		
7~8	EXCEL入門① データの入力	EXCELの画面構成を理解し、データの入力・修正と消去法を学修する。		
9~10	WORD入門② ワードの基本操作	文書を入力し、名前を付けて保存・上書き保存ファイルを開き追加入力の学修を行う。		
11~12	EXCEL入門② 便利にデータを入力	表計算の基本手順・日付と時刻の入力法を学修し、オートフィル機能を用いて表の書式設定を学修する。		
13~14	WORD入門③ 練習問題	効率よく文書を入力する反復練習を行う。		
15~16	EXCEL入門③ 練習問題	データの入力と保存法を理解し、表の編集の反復練習を行う。		
17~18	WORD入門④ 文字を飾る	書式設定法を学修し、印刷時の書式設定を行う。		
19~20	EXCEL入門④ エクセルで基本の表計算	複数の演算式を使った数式と四マス計算で練習を行う。		
21~22	WORD入門⑤ 複数候補から書式設定	プルダウンメニューの使い方の学修と、書式のクリア法を練習する。		
23~24	EXCEL入門⑤ 瞬時に計算	オートSUMボタン・データ修正と再計算手法を学修し、オートフィル機能で数式のコピー・行と列の修正練習。		
25~26	WORD入門⑥ 文字の配置を変える	複数行の文字選択・文字列の位置と行間を整え、文書全体の体裁を整える練習を行う。		
27~28	EXCEL入門⑥ 住所録を作成する	データベースの考え方として、データの入力・列幅の整え方・データの並び替えを学修する。		
29~30	WORD練習問題 EXCEL練習問題	文書やデータの入力・編集・印刷と書式設定の反復練習を行う。		

31~ 32	WORD入門⑦ コピー・貼り付け 段落書式	<ul style="list-style-type: none"> ・移動とコピー、文字書式と段落書式を学修する。 ・インデントと箇条書き・段落番号のつけ方を学修する。 		
33~ 34	EXCEL入門⑦ 演算式と関数	合計（SUM関数）平均（AVERAGE関数） 最大値（MAX関数）最小値（MIN関数）を学修する。		
35~ 36	WORD入門⑧ ワードアートと図形	ワードアートの挿入・編集・移動法と図形の挿入・編集 移動法を学修する。		
37~ 38	EXCEL入門⑧ IF関数で条件処理	<ul style="list-style-type: none"> ・IF関数、ページレイアウトの編集を学修する。 ・ページ設定を変更して印刷する方法を学修する。 		
39~ 40	WORD入門⑨ 図形でイラストを描いてみる	図形の塗りつぶしと線の色、図形のスタイル変更法を学 修、図形の挿入と順序、文字列の折り返し法も学修する。		
41~ 42	EXCEL入門⑨ 大きな表の印刷	改ページの調整法、ページ番号の挿入法、印刷タイトルの 設定法を学修する。		
43~ 44	WORD練習問題	タイトルをワードアートで作成、図形を使用して地図を作 成する練習を行う。		
45~ 46	EXCEL入門⑩ グラフの作成	棒グラフ・折れ線グラフ・円グラフの作成法を学修する。		
47~ 48	WORD入門⑪ テキストボックスとスマートアート	・テキストボックスの挿入 書式設定と、スマートアートの 挿入、書式設定法を学修する。		
49~ 50	EXCEL入門⑪ データベースで管理	・単一条件の並び替え、複数条件の並び替え手法を学修す る。		
51~ 52	WORD入門 オンライン画像と図	・オンライン画像の挿入の基本操作と、調整やスタイル変 更、トリミング法を学修する。		
53~ 54	EXCEL練習問題	データの並び替えや抽出法を学修し、反復練習する。		
55~ 56	WORD練習問題	スマートアート、テキストボックスを使った文書作成法を 反復練習する。		
57~ 58	WORD練習問題	画像と図形（地図）を使った案内文作成を練習する。		
59~ 60	EXCEL入門⑫ 条件付き書式	条件付き書式の設定として、セルの強調表示ルール・上位/ 下位ルールを学修する。		
教科書・教材		成績評価の方法	評価率	授業時間外の学修
講師資料		期末試験 授業態度	70.0% 30.0%	各講義で実施した 内容をノート等利 用して復習する。

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
英会話実習		イオンバイク社員養成学科 /1年	2020/通年	講義
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	30回	60単位時間	必須	Nikola Dzinovic

授業の概要

This course is a basic introduction to English communication. It will provide a solid foundation for the students' continued English studies. Course topics will include: cycling, bicycle shops, bicycle maintenance, and products.

授業終了時の到達目標

Students will be able to do self introduction. Talk about everyday activities using present continuous tense. They will be able to describe people, things and weather. also they will be able to talk about family members, places around town and clothing.

実務経験有無	実務経験内容
無	

時間外に必要な学修

講義ノート等を利用して、予習・復習につとめ、授業の習熟を図る。

回	テーマ	学修内容
1	Introduction, Personal Information	What's your name, address, phone number. Where are you from?
2	Introduction, Meeting People	Students will be able to introduce themselves and greet people.
3	Location, Classroom Objects, Rooms in the Home	Learning classroom objects and rooms in the home.
4	Cities and Nationalities, Places Around Town	Learning about nationalities and different countries in the world.
5	Present Continuous Tense, Everyday Activities	Students will be able to explain what are they doing right now.
6	Present Continuous Tense, Everyday Activities No2	Students will be able to tell a story about everyday activities.
7	Short Answers, Everyday Activities	Students will be able to ask and answer the questions about everyday activities.
8	Possessive Adjectives	Learning how to use possessive adjectives.
9	Yes/No Questions Short Answers, Describing People and Things	Students will be able to describe people and things.
10	Adjectives Possessive Nouns, Weather	Students will be able to talk about weather.
11	Review Present Continuous / Review, Family Members	Talking about family members using present continuous tense.
12	Prepositions of Location, Describing Activities and Events	Asking questions about family members. Talking about different types of families.
13	Prepositions There Is/There Are, Places Around Town, Locating Places	Talking about places around town using: There is/ There are..
14	Singular/Plural: Introduction, Describing Neighborhoods/Apartments	Locating places using : Is there/ Are there..?
15	Singular/Plural Adjectives This/That/These/Those, Clothing, Colors	Talking about clothing using singular and plural and adjectives. Also practicing shopping for clothing.
16	Singular/Plural Adjectives This/That/These/Those	Shopping for Clothing

17	Simple Present Tense	Languages and Nationalities		
18	Simple Present Tense	Everyday Activities		
19	Simple Present Tense: Yes/No Questions	Habitual Actions		
20	Simple Present Tense Negatives Short Answers	People's Interests and Activities		
21	Object Pronouns Simple Present Tense:-s vs. non-s Endings	Describing Frequency of Action		
22	Adverbs of Frequency	Have/Has Adverbs of Frequency, Describing People		
23	Contrast:Simple Present and Present Continuous Tenses	Feelings and Emotions		
24	Adjectives	Describing Usual and Unusual Activities		
25	Can / Have to	Expressing Ability, Occupations		
26	Can / Have to	Looking for a job, Expressing Obligation, Invitations		
27	Future:Going to, Time Expressions, Want to	Describing Future Plans and Intentions Expressing Wants		
28	Future:Going to, Time Expressions, Want to	Weather Forecasts, Telling Time, Making Predictions		
29	At the Bicycle Shop	Bicycle Shop: Role- play		
30	At the Bicycle Shop	Bicycle Shop: Role- play		
教科書・教材		成績評価の方法	評価率	授業時間外の学修
SIDE by SIDE Book1 (Peason)		期末試験 授業態度	70.0% 30.0%	各講義で実施した 内容をノート等利 用して復習する。

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
ビジネスマナー		イオンバイク社員養成学科 /1年	2020/通年	講義
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	30回	60単位時間	必須	杉原 美佐子
授業の概要				
<p>・本講座は接遇の基礎的理解をテーマにしている。後期に予定しているサービス接遇検定2級の取得を目指しながら、ビジネスのマナーを身に付け、学生と社会人の違いを理解する。またサービス提供者としての資質の習得を目的とする。</p>				
授業終了時の到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> ・敬語・接遇用語が話せる ・正しい挨拶ができる ・サービス接検定2級を取得できる 				
実務経験有無	実務経験内容			
無				
時間外に必要な学修				
講義ノート等を利用して復習する。関連する参考図書等を定期的に読み予備知識を得る。				
回	テーマ	学修内容		
1	授業ガイダンス	学習の計画を知る。検定取得の意義を理解する。		
2	基本行動	社会人としての挨拶を、企業理念に照らし合わせて練習、習得する。		
3	言葉遣い(敬語)	尊敬語/謙譲語/丁寧語の使い分けを学修し、適切な判断が行えるよう練習する。		
4	言葉遣い(接遇用語)	接遇検定に準じた接遇用語を学修する。		
5	言葉遣い(まとめ)	敬語・接遇用語の演習問題で反復練習する。		
6	マナー・接遇1	企業での接遇モデルケースを学修し、現場での対応を理解する。		
7	マナー・接遇2	企業での接遇モデルケースを学修し、現場での対応を理解する。		
8	サービススタッフの資質1	①必要とされる要件とはなにか学修する。 ②従業要件の理解を深め、業務に活かす。		
9	サービススタッフの資質2	①必要とされる要件を洗い出し、不足部分を補う。 ②従業要件の理解についての確認。		
10	専門知識1	①サービスの意義を理解できる ②サービスの機能を理解できる ③サービスの種類を理解できる		
11	専門知識2	①商業活動、経済活動を理解し企業理念との差異を学修する。 ②商業用語、経済用語を理解し、見識を深める。		
12	対人技能1	①人間関係が、組織の中でどう反映されるかを学修する。 ②接遇知識の理解を深める。		
13	実務技能1	①問題処理、対処ができるよう、クレーム案件の実例を学修する。 ②就業環境の整備や変動の対応を実例で学修する。		
14	実務技能2	①金品の管理について能力を発揮できる。 ②送金、運搬について理解できる。 ③社交儀礼の業務について理解し、処理できる能力を理解する		
15	まとめ演習	選択問題の復習を行い、理解度を深める。		
16	検定試験対策	記述問題・イラスト問題の傾向と対策を理解する		

17	検定試験対策	過去問題に取り組み実力を確認する		
18	検定試験対策	過去問題に取り組み実力を確認する		
19	技能 1	会議の知識を理解する		
20	技能 2	文書の作成を理解する（社内文・社交文）		
21	技能 3	文書の作成を理解する（社交文）		
22	技能 4	①文書の取り扱いを理解する ②郵便の取り扱いを理解する		
23	技能 5	まとめ演習問題に取り組み理解度を深める。		
24	マナー・接遇 3	電話接遇の手法を学修し、店頭での受け答えに活かす。		
25	マナー・接遇 4	電話対応演習（電話をかける）		
26	マナー・接遇 5	電話対応演習（電話を受ける/不在対応）		
27	一般知識 1	①企業と経営を理解する ②社会常識を身に付ける		
28	一般知識 2	一般知識のまとめとして練習問題に取り組み理解を深める。		
29	マナー・接遇 6	交際業務を理解する		
30	マナー・接遇 7	人間関係と話し方・聞き方を理解する		
教科書・教材		成績評価の方法	評価率	授業時間外の学修
秘書検定2級 集中講義（早稲田教育出版） サービス接遇検定実問題集1-2級（早稲田教育出版） 秘書検定新クリアテスト2級（早稲田教育出版）		期末試験 授業態度	70.0% 30.0%	各講義で実施した内容をノート等利用して復習する。関連する参考図書等を定期的に読み予備知識を得る。

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
就職サポート		イオンバイク社員養成学科 /1年	2020/通年	講義
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	30回	60単位時間	必須	高橋 弘
授業の概要				
<ul style="list-style-type: none"> ・採用試験の対応法を学修する。 ・イオンバイク株式会社の新入社員教育を行う。 				
授業終了時の到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> ・イオンバイク株式会社採用面接に合格できる対話能力、所作の修得。 ・イオンバイク株式会社の新入社員教育内容を理解し体得する。 				
実務経験有無		実務経験内容		
無				
時間外に必要な学修				
講義ノート等を利用して、予習・復習につとめ、授業の習熟を図る。				
回	テーマ	学修内容		
1	書類作成法	履歴書やエントリーシートの作製法を学修し要点、注意点を理解する。		
2	イオンバイク採用試験概説	試験の概要解説と、審査基準、試験の流れを理解する。		
3	企業理念研修①	イオンの成り立ちと企業理念を学修する。		
4	企業理念研修②	イオンバイク株式会社の理念を学修する。		
5	人事教育（オリエンテーション）1-1	就業規則と理念「私たちのつとめ」の解説、勤怠管理システムの使用方法を学修する。		
6	人事教育（オリエンテーション）1-2	「販売基本動作訓練」と「接客対応の4原則」を学修し体得する。		
7	人事教育（オリエンテーション）1-3	行動規範「私たちの行動基準」を学修し、理解する。		
8	人事教育（オリエンテーション）1-4	イオンバイクの商品知識と、「陳列技術の基本・売場の分類」を学修する。		
9	人事教育（オリエンテーション）2-1	「陳列技術の基本・並べ方」を学修する。		
10	人事教育（オリエンテーション）2-2	イオンバイク接客基礎「おもてなし」、「接客対応」を学修する。		
11	人事教育（オリエンテーション）2-3	イオンバイク接客基礎「お客さまの心理・行動と従業員の行動」を学修する。		
12	人事教育（オリエンテーション）2-4	レジ訓練「基本登録、登録訂正」、「現金/カード/金券/商品券オーナーズ」を学修する。		
13	人事教育（オリエンテーション）3-1	レジ訓練「イオンギフトカード」、「WAON」、「感謝デー」を学修する。		
14	人事教育（オリエンテーション）3-2	レジ訓練「点検/両替/印紙」を学修する。		
15	人事教育（オリエンテーション）3-3	レジ訓練「領収書」、「ドロア」を学修する。		
16	人事教育（オリエンテーション）4-1	人事教育1を振り返り、理念と店頭業務を理解する。		
17	人事教育（オリエンテーション）4-2	人事教育2を振り返り、接客対応とカウンター業務を理解する。		

18	人事教育（オリエンテーション）4 －3	人事教育3を振り返り、レジ業務を理解する。		
19	店舗レジ研修1－1	レジの「戻り」と「違算」の管理作業を学修する。		
20	店舗レジ研修1－2	レジの「修正戻り」と「電子マネー戻り」の管理作業を学修する。		
21	店舗レジ研修1－3	レジの「会計修正表起票」と「EJの見方」の管理作業を学修する。		
22	店舗レジ研修1－4	レジの「クレジットエラー」と「訂表チェック」の管理作業を学修する。		
23	面接練習1－1	グループに分かれ模擬面接を実施し、苦手項目の洗い出しと修正を行う。		
24	面接練習1－2	苦手項目の修正箇所を2人1組で相互チェックする。		
25	面接練習1－3	グループに分かれ模擬面接を実施し、修正点を確認する、		
26	面接練習1－4	修正箇所のフィードバックを行い、履歴書やエントリーシートを修正する。		
27	面接練習2－1	模擬面接を実施し改善点を確認する。		
28	面接練習2－2	入退室と会話応酬の所作を反復練習する。		
29	面接練習2－3	履歴書、エントリーシートの最終チェックを行い提出する。		
30	面接練習2－4	面接一問一答形式のリストを使用し、2人1組で反復練習する。		
教科書・教材		成績評価の方法	評価率	授業時間外の学修
スタートアップマニュアル（イオンバイク株式会社） 講師資料		期末試験 授業態度	70.0% 30.0%	各講義で実施した内容をノート等利用して復習する。